

KH1000

日立油圧式クローラークレーン

つり上荷重(作業半径5.0m時)…200t

最長ブーム(ジブ含む)……109m

過負荷防止装置標準装備



HITACHI

高い作業能力を誇る、

巻上ウインチ 主巻・補巻が独立した 2×2システム

巻上ウインチを独立させた2×2システム（2モータ・2ドラム）により、主巻・補巻の正・逆回転が自由自在に行なえます。このため、複合操作も容易に行なえます。

重作業に威力を発揮する パワフルな巻上ウインチ

主・補あわせて2つのモータの力が合流しますので、ウインチ力はパワフルそのもの。しかも、減速機は内蔵形にしたためにドラム幅が広くなり、ロープの巻取容量も大きくなって、作業範囲がいちだんとワイドになりました。



全馬力制御方式の採用で 大作業量を実現

常にエンジンパワーを100%有効に活かす全馬力制御方式の大容量可変容量ポンプを採用。大作業量を生みだします。

経済性を高める 先進の低燃費機構を満載

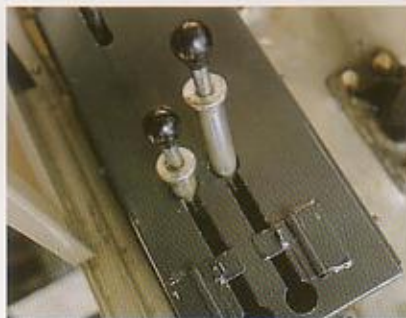
直噴エンジンの搭載をはじめ、全馬力制御方式の大容量ポンプ、省エネ・油圧システムの採用、燃料レバーのエコノミーセッティング化などにより、燃費を大幅に低減しています。

レバー1本で ロープ速度の切換えが可能

主巻・補巻のロープ速度は「高速・中速・低速」の3段変速を採用。しかも、切換えはレバー1本の操作で可能。作業用途に応じて、ロープ速度を簡単に切換えられます。

作業に応じて 巻上ブレーキ 操作が選択可能

クレーン作業には、レバー中立時で自動的にブレーキが掛かる「自動ブレーキ」。バケット作業には、巻上レバー中立時でフリーになり、足踏みで制御が行なえる「フットブレーキ」。作業に応じて容易に切換えられます。



ブレーキ操作はバネアシスト式の 優れたインテグレーション性

負荷に応じてバネアシスト装置が作動します。そのため、操作フィーリングが良く、踏力で意のままのブレーキ操作が行なえます。

居住性を高めたオペレートキャブ

運転室は、前後・左右・上部の5面にガラスを採り入れ、良好な視界・通風性を確保。さらに、フルリクライニングシートを採用し、高い居住性を実現しています。



使いやすく合理的に配置された レバー計器類

操作レバーはキャブ内に合理的に配置。無理のない姿勢でラクに運転できます。計器類は左サイドにコンパクトにまとめ、見やすさ抜群。さらに、操作レバー（巻上、ブーム起伏、旋回、走行）は伸縮式で、操作しやすい長さに調整できます。

機動力、小まわり性に富んだ 足まわり

クローラは左右独立駆動方式で、スムーズな走行力が得られます。また、小まわり性にも優れ、スピントーン、ピボットターンも可能。狭い現場で威力を発揮します。

サイドフレームの伸縮は ワンタッチで実現

サイドフレームの伸縮は油圧式でスムーズ。狭い現場での移動は、クローラ幅を縮めて容易に行なえます。

最強の200tぶり。



組み換え作業が容易で 作業効率がアップ

クローラークレーン⇄タワーークレーンの組み換え作業は、ブーム起伏ロープ、モーメントリミッタ検出部の組み換え作業が不要で、容易に行なえます。また、下ブーム、ツナギブームの共通化により、上ブーム、タワー(上)などの一部アタッチメントを交換するだけで、多彩な作業が可能です。

分解・組立てが容易で 優れた輸送性を確保

本体はカウンタウエイト、上部旋回体、トラックフレーム、両側サイドフレームなど分解が容易に行なえる構造になっています。

●本体には輸送時分解・組立のためのAフレーム昇降シリンダ、旋回輪油圧締結装置、そしてオプションとして上下分解用アウトリガ、サイドフレーム伸縮シリンダなどを備えています。

効率作業を実現する クラス最大のクレーン能力

大形テトラポットをはじめ、魚礁据付作業など、使用頻度の高い作業半径でのクレーン能力は、クラス最大。重量物荷役も余裕をもってこなせます。また、クレーン仕様では、遠方ぶり、主ブーム以上の作業半径とクレーン能力を発揮します。このほか、高層建築物、大型プラント建設事にタワーブームぶりの可能なタワーークレーン、重量物、高揚程作業に威力を発揮するカウンタバランスクレーン(クレーン能力は300t、400t級)を揃え、幅広い用途に適應できます。



市街地・夜間工事も 安心して行なえる 低騒音型

時代のニーズに応え、騒音対策を施し、発生騒音を低く抑えました。低騒音が要求される住宅地での作業、市街地での夜間作業などに、その効力をフルに発揮します。

機械の状態がひと目で確認できる 始業・安全点検モニター

エンジン油圧、水温、燃料残量などが、キャブ内のモニターでひと目で確認できるとともに、異常時には赤ランプとブザーで警告します。さらに作動油レベル、エンジンオイルレベル、水量などが集中的にチェックできます。



事故を未然に防止できる 〈日立ハイリミッタ〉を標準装備

〈ハイリミッタ〉の表示計は見やすいデジタル式で、スイッチの切換えにより、〈限界荷重と実荷重〉〈ブーム角度と負荷率〉〈限界作業半径と実作業半径〉の3通りの表示が行なえます。

手間を省いたメンテナンス

●足まわりの上ローラ・下ローラは、フローティングシールを採用した無給脂タイプです。
●旋回輪、Aフレームは集中給脂タイプで日常の保守・点検が安全、容易に行なえます。

